

カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO₂排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1077-0552

報告書提出
事業者名

三井住友信託銀行株式会社

事業所名

NOF神田岩本町ビル

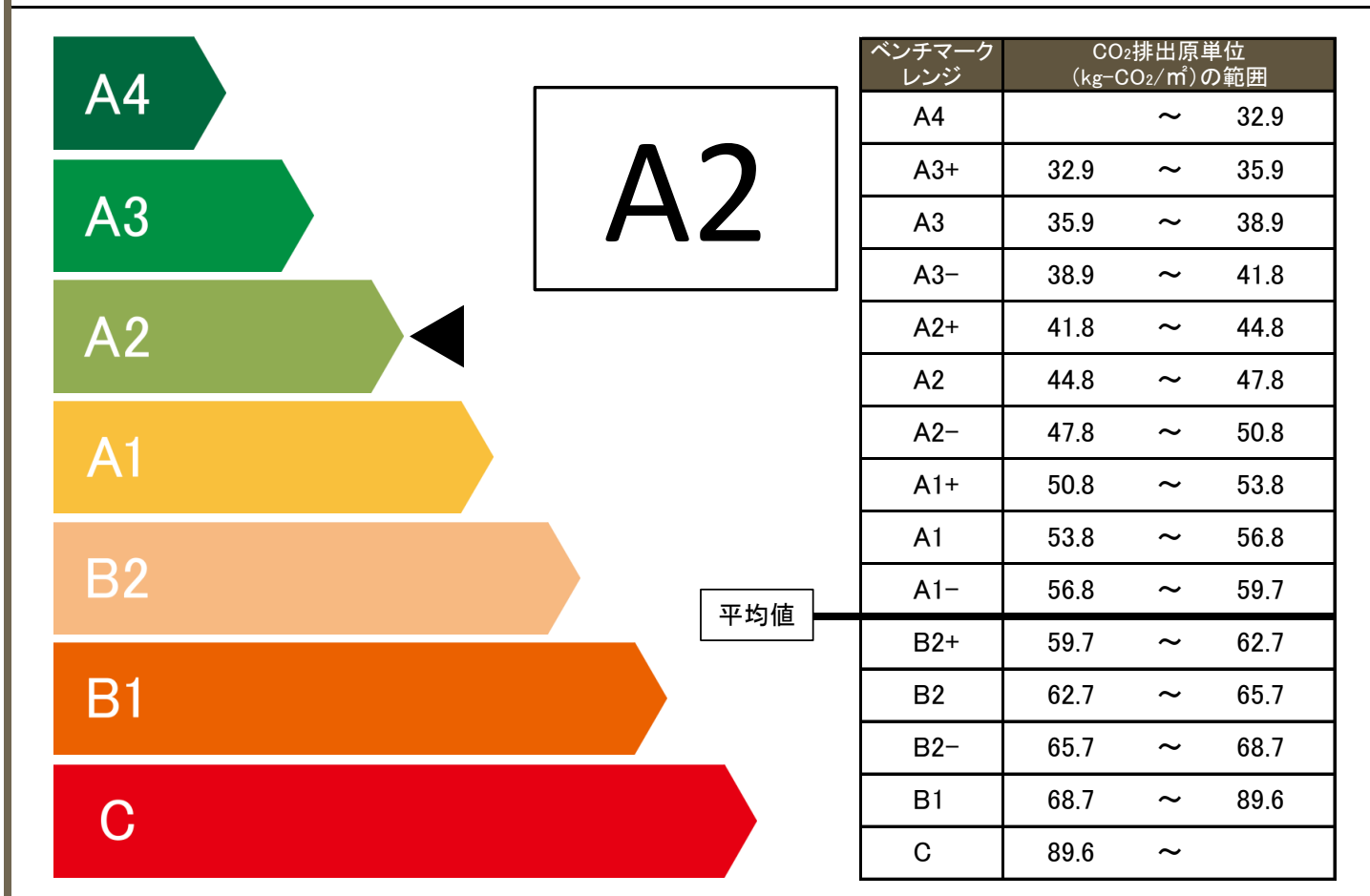
住所

千代田区岩本町3-8-16



実績年度	年間CO ₂ 排出量	延床面積	CO ₂ 排出原単位 (延床面積当たりの年間CO ₂ 排出量)	主たる用途
2014年	224 t	4768.23 m ²	46.5 kg-CO ₂ /m ²	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、中規模)



※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO₂排出水準(CO₂排出原単位の水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)

※CO₂排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組織体制の整備	温暖化対策推進担当の配置	テナントへの温暖化対策協力依頼
	テナントにエネルギー使用量提供	所内の温室効果ガス排出量を集計
		使用量に応じた料金体系
エネルギー等の使用状況の把握	自ら入手可能な情報に基づく把握	
	エネルギー使用量の前年度比較	
運用対策	共用部照明のフロアごとの管理	事務用機器を業務終了時に停止
		便座ヒーター等温度の季節別設定
		自動販売機の休日・夜間照明停止
		屋内駐車場換気の不要時間の停止
設備保守対策	空調フィルターの清掃・点検	その他設備の定期的な保守・点検
設備導入対策	高効率照明器具の採用(屋内)	照明点灯範囲の細分化
		照明用人感センサの採用
		全熱交換器の導入

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

[建物]: 昭和63年7月竣工、延床面積4,768.23㎡
 [電気設備]: キュービクル受変電設備、契約電力282kW、変圧器容量650kVA
 [空調設備]: 個別パッケージ空調機方式の併用、全館1系統外気調和機(全熱交換器付)風量36,300m³/h
 [照明設備]: 専用部主照明のLED化を進行中、全館誘導灯は故障時にLED化を実施、
 [給排水衛生設備]: 局所電気給湯方式
 [駐車場]: 別棟機械式駐車場30台

◆ 注記

ビルのCO₂排出原単位(延床面積当りの年間CO₂排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO₂排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO₂排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO₂排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も含まれた平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO₂排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。